

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 7 月 27 日 (2017.7.27)

【公開番号】特開 2015-26371 (P2015-26371A)

【公開日】平成 27 年 2 月 5 日 (2015.2.5)

【年通号数】公開・登録公報 2015-008

【出願番号】特願 2014-123154 (P2014-123154)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0488 (2013.01)

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/048 6 2 0

G 0 6 F 3/041 6 4 0

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 12 日 (2017.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

終了命令を含む操作命令および折り曲げ情報が供給される演算装置と、
前記操作命令および前記折り曲げ情報を供給する入出力装置と、を有し、
前記演算装置は、演算部および前記演算部に実行させるプログラムを記憶する記憶部を
備え、

前記入出力装置は、前記操作命令を供給することができる入力手段および折り曲げられ
た角度を検知して前記折り曲げ情報を供給することができる折り曲げセンサを備え、

前記プログラムは、

初期化する第 1 のステップと、

割り込み処理を許可する第 2 のステップと、

前記割り込み処理を実行し、且つ情報を処理する第 3 のステップと、

前記割り込み処理において前記終了命令が入力されなかった場合は前記第 3 のステップ
に戻り、前記終了命令が入力された場合は第 5 のステップに進む第 4 のステップと、

終了する第 5 のステップと、を備え、

前記割り込み処理は、

前記終了命令および前記折り曲げ情報を受けつける第 6 のステップと、

前記第 6 のステップで前記折り曲げ情報が供給されなかった場合は第 11 のステップに
進み、前記折り曲げ情報が供給された場合は第 8 のステップに進む第 7 のステップと、

前記折り曲げ情報が山折りでない場合は第 9 のステップに進み、山折りである場合は第
10 のステップに進む第 8 のステップと、

第 1 の処理をする第 9 のステップと、

前記第 1 の処理とは異なる第 2 の処理をする第 10 のステップと、

前記割り込み処理から復帰する第 11 のステップと、を備える、情報処理装置。

【請求項 2】

前記第 1 の処理は、

前記入力手段がジェスチャーを受けつける第 12 のステップと、

前記第 12 のステップで第 1 のジェスチャーまたは第 2 のジェスチャーを認識しなかつ

た場合は第 17 のステップに進み、前記第 1 のジェスチャーまたは前記第 2 のジェスチャーを認識して、前記操作命令が供給された場合は第 14 のステップに進む第 13 のステップと、

前記第 12 のステップで前記第 2 のジェスチャーを認識しなかった場合は第 15 のステップに進み、前記第 2 のジェスチャーを認識した場合は第 16 のステップに進む第 14 のステップと、

第 1 のジェスチャー処理をする第 15 のステップと、

前記第 1 のジェスチャー処理と異なる第 2 のジェスチャー処理をする第 16 のステップと、

前記第 1 の処理から復帰する第 17 のステップと、を備える、請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記第 2 の処理は、

前記入力手段がジェスチャーを受けつける第 18 のステップと、

前記第 18 のステップで第 1 のジェスチャーまたは第 2 のジェスチャーを認識しなかった場合は第 23 のステップに進み、前記第 1 のジェスチャーまたは前記第 2 のジェスチャーを認識して、前記操作命令が供給された場合は第 20 のステップに進む第 19 のステップと、

前記第 18 のステップで前記第 2 のジェスチャーを認識しなかった場合は第 21 のステップに進み、前記第 2 のジェスチャーを認識した場合は第 22 のステップに進む第 20 のステップと、

前記第 1 の処理の前記第 1 のジェスチャー処理とは異なる第 1 のジェスチャー処理をする第 21 のステップと、

前記第 1 の処理の前記第 2 のジェスチャー処理とは異なる第 2 のジェスチャー処理をする第 22 のステップと、

前記第 2 の処理から復帰する第 23 のステップと、を備える、請求項 1 記載の情報処理装置。